

日本医療検査科学会 科学技術委員会
2026 年度第 1 回委員会議事録

1. 日時：2026 年 5 月 9 日（土）15:20～16:20
2. 場所：九州大学病院地区キャンパス 第 2 薬局棟 2F 大会議室 A
〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

（日本医療検査科学会 第 40 回春季セミナー会場）

出席者（敬称略）：清宮*、山内（恵）、汐谷*、神山*、川崎、角田、小島（和）*、
和田、山口、黄江、高崎、金沢、小島（哲）*、福田、山下*、
緒方、新井、姫野、三宅、戸枝、中川、飯島*、菊池（雅）*、
元中、雪松、比嘉*、中野、藤村、斎藤、山内（露）*、大澤、
山本（慶）、藤本、外園* *現地参加
欠席者（敬称略）：山本（裕）、今井、菊地（良）、末吉、藤田、倉村、松原、
大久保、片岡

会の冒頭において、清宮委員長から桑先生のご逝去について説明があり、黙禱を行った。次回のマニュアルに追悼文を挿入することとした（文面は白井先生に依頼）。

3. 報告事項

- 1) 2024 年度 第 2 回委員会議事録：特に異議は無かった。
- 2) 委員の変更について：資料をもとに報告があった。
- 3) 委員会名簿について：修正等は事務局まで。
- 4) 第 25 回科学技術セミナーアンケート結果：回答数 88 件（回収率は良くない）
アンケート結果などについて報告があった（全体的に好評）。
- 5) 第 25 集マニュアルについて：清宮委員長から発刊予定時期等について報告があった。

4. 議題

1) 三役人事（委員長）について

今年度で任期満了となるため次期三役の改選を行う。秋までに清宮委員長が素案を考える。（立候補者は清宮委員長まで）

2) 第 58 回大会 第 27 回科学技術セミナーについて

- ・ 10/9（大会 2 日目）15:00-16:50
- ・ 会場レンタルの関係でセミナー時間を 120 分→110 分に。
- ・ 司会（山本委員、藤村委員）、演者（高崎委員、戸枝委員、和田委員、黄江委員）
スタート時において藤村委員が総論を担当。
- ・ 各演者は抄録作成を 5 月末までに。

3) 第 58 回大会 シンポジウム 3 精度管理（10/10 大会 3 日目）13:00-14:50

司会：山内（恵）副委員長、汐谷副委員長
・ 講演 1 総論：浜松医大病院・山下委員

- ・講演 2 臨床化学会から情報提供：佐藤正一先生
- ・講演 3、4 精度管理の実施例の調査報告
北大病院検査部・中野委員、熊本大学病院・山内（露）委員

山下委員からシンポジウム企画における方向性について説明があり、シンポジウムに必要なアンケート事項等について委員に意見を求めた。神山委員から、昔から理論と実際の運用がそぐわない苦労が現場にはあることなどについて説明があった。また、山本アドバイザーから、今回のアンケート調査が単なる調査に終わるだけでなく、ぜひ現場で広く利活用されるマニュアルとなることを期待したいとの助言があった。まずは、各施設の現状を広く把握できるアンケート内容を確定し抄録（5月末まで）を作成する。

4) 今後のマニュアル刊行（26集）について

アンケート調査、シンポジウムを経て、他委員会との連携・すり合わせも行いながら清宮委員長を中心としてマニュアル作成を行う予定。

5) 今後の委員会活動について(2026年度活動計画)

例年通り、委員会 年2回、科学技術セミナー、マニュアル刊行を予定

6) 27集以降のマニュアルについて

清宮委員長より今後の刊行のスタイルや執筆体制について説明・提案があった。マニュアル作成にあたって、執筆要項の作成が必要であるとする意見を受けて、27集以降のマニュアル作成に向けて執筆要項を整理する。

発刊スタイルは、セミナー後にマニュアルを執筆・発刊するスタイルへ変更し

（セミナー後の意見を踏まえた内容で刊行できるメリットを優先）これまで同様に年一回のペースで刊行を継続することを基本とする。

また、幹事を中心とするグループ体制を敷き、各グループでテーマを決めて執筆を担当していくスタイルへ。

7) その他

編集委員会のメンバーが不足しているので、本委員会のメンバーから推薦を行うこととする。

以上、
文責 外園